

第 9 回 茅ヶ崎市市民活動推進委員会 会議録

議題	(1) 平成31年度実施市民活動推進補助事業の評価について(審議事項) (2) 協働アイデア提案コンテストについての答申について(審議事項)
日時	平成31年3月19日(火) 15時00分から18時30分
場所	市役所本庁舎4階会議室5
出席者氏名	草野正弘 森祐一郎 椎野典子 秦野拓也 高橋準治 岩壁 榮 水島修一 大江守之 中川久美子 伊藤隆 事務局5名(市民自治推進課) 石井協働推進担当課長、前田課長補佐、遠藤、柿澤、勝山
欠席者	西野義一 石田貴一 北川哲也
会議の公開・ 非公開	一部非公開
傍聴者数	なし
非公開の理由	議題1については、茅ヶ崎自治基本条例第14条3号及び茅ヶ崎市情報公開条例第5条2号の規定により非公開とした

○大江委員長

第9回市民活動推進委員会を開会いたします。本日は、石田委員、西野委員より欠席の連絡を承っております。また、北川委員がお仕事の関係で急遽参加できなくなったと連絡がありました。本日の委員会の議事録署名人は、スタート支援のAグループとステップアップ部分を森委員、Bグループと議題2の部分を高橋委員にお願いすることといたします。議事録ができましたら署名をお願い致します。それでは議事に入ります。

【議題2 協働アイデア提案コンテストについての答申について】

○大江委員長

あと、予定の6時半まで10分ですけれども、もう一つ議題がございまして、「協働アイデア提案コンテストのあり方」でございます。先日も議題につきましてご意見をいただきました。先日の審議に基づきまして、市民活動推進委員会から市への答申案を作成しましたので、お手元に1枚ペラがございます。資料4ですね。これをご確認いただきたい。読みますね。

協働アイデア提案コンテストのあり方についての答申の案

協働アイデア提案コンテストのあり方や継続に関して審議したので結果を答申する。

協働アイデア提案コンテストは、市と市民活動団体が協働して実施する「協働推進事業」のアイデアを市民が気軽に提案できる仕組みであり、協働への市民の関心を高め、協働の裾野が広がることを意図してつくられた。提案内容は広く市民に公開し、市や市民活動団体等がそこからヒントを得ながら協働推進事業に取り組むことが期待されている。

しかし、平成22年度の実施以来、113件の提案があったものの、提案の中から協働推進事業につながった事例は、23年度の1件のみに留まっている。提案されるアイデアは、行政に対する要望や生活の利便に関するものが多く、「協働」手法による公共事業の実施を意識した提案は少ないという状況が続いてきた。様々な対応策を試みたが、この状況は改善されないまま9年間が経過した。

複雑多様化する社会環境や、時代とともに変化する市民ニーズを捉えて、課題解決に向けた政策を立案・実施する際には、市民が主体的に参加する協働という手法は必要不可欠である。とりわけ、財政制約が強まるなかで費用対効果の高い行政経営が求められる地方自治体において、市民との協働の重要性は一層高くなっていくと考えられる。

このような状況を踏まえ、当委員会としては、協働アイデア提案コンテストを一旦終了させ、近年着実に進めてきた市民活動サポートセンターとの連携強化等、政策資源の有効活用をととして協働推進事業の一層の拡大・充実を図ることを求めたい。ま

た、市が市民参加の一環として運用している「政策提案」や「わたしの提案」を活性化させ、市民の提案を積極的に募るとともに、協働推進事業のアイデアとして活用する方策の検討をお願いしたい。

当委員会としては、引き続き、市民活動の推進に効果的な取組に関し審議を重ねていく。

以上です。

何か修文したほうがいい点があれば、ご指摘いただければと思います。

いかがでしょうか。

皆さん一生懸命読んでいらっしゃるのかな。そのあれだったらあまり発言しないほうがいいかなと思ったんですが。

○高橋委員

「政策提案」とか「わたしの提案」というのは、市のホームページとか広報とかにも出ているのでしたっけ。

○事務局

先日、市民参加の特集号というのを発行したんですけれども、その中に「政策提案」も入っていたり、市民参加の方法の茅ヶ崎の特徴の一つとして「政策提案」というのがあって、過去に「政策提案」から協働推進事業につながってきたものが1件あります。「わたしの提案」というのは、要は、いろいろな提案の窓口ということで、苦情も含めなんですけれども、年間1,000件以上寄せられているもので、いろいろな提案をしていただけのような窓口になります。

○高橋委員

市民の提案というのはどうやって募るとい、何か具体的に何かあったほうがいいんじゃないかなという気がするんですが。

○事務局

通年やっている制度ですので、この前の話では、市民参加であれば、特集号の中にこういうような提案制度があります。そのほかにもいろいろ市民参加の方法があるんですけれども、そういった、ことあるタイミングでこういうものがありますよというふうな既存の制度の紹介はできます。

○大江委員長

「政策提案」とか「わたしの提案」という現在ある仕組みを活性化させて、そして、協働推進事業のアイデアとしても活用する。つまり、今の協働アイデア提案コンテストの

一部の機能を代替するということができるように方策の検討をお願いするということを答申しているので、具体的にはこれから考えていただくという内容になっています。

よろしいでしょうか。

○椎野委員

私はいいと思います。

○大江委員長

ありがとうございます。

それでは、この内容を市に答申いたします。

ということで、議題は以上2つでございまして、これで終了です。

では、事務局のほう、お願いします。

○事務局

それでは、来年度の日程についてご連絡いたします。次回、新年度第1回推進委員会は、30年度に実施した協働推進事業やげんき基金補助事業の実施報告会として5月25日土曜日に開催予定です。その後、第2回市民活動推進委員会は、今年度実施事業の実施報告会を予定しております。日程は、5月27日（月）から30日（木）の中で日程を調整させていただきます。よろしくお願いします。以上でございます

委員長署名 大江 守之

委員署名 森 祐一郎

委員署名 高橋 準治